

1. サイバーセキュリティ対策の強化について

- 国内金融分野におけるサイバー攻撃の動向については、大手金融機関のみならず、中小金融機関にまでその裾野が拡大している。実際に、本年度に中小金融機関の Web サイトの改ざんが複数回発生しており、実効性のあるサイバーセキュリティ対策は急務となっている。

(サイバーセキュリティ演習 (DeltaWall III) について)

- 昨年 10 月に実施した「金融業界横断的なサイバーセキュリティ演習 (Delta Wall III)」の結果について、先般、参加金融機関に還元したところである。
- 地銀・第二地銀については、今回はシナリオ骨子を事前に開示しないブラインド方式で実施した。また、共同センターがマルウェアに感染するという業態別シナリオで実施したが、委託先である共同センターへの依存度が高く、自行としての行動や共同センターとの連携に課題が見られた。
- サイバー攻撃に的確に対応するためには、対応態勢を整備しておくことが重要であり、今後の改善に繋げて頂きたい。
- 演習を通じて判明した課題や良好事例は、演習に参加していない金融機関にも参考として頂くため、今後、協会を通じてフィードバックさせて頂く。

(実態把握について)

- 本事務年度の実態把握では、サイバーセキュリティ対策の実効性を確保する観点から、サイバーセキュリティに係る脆弱性診断の実施状況等を確認したところであるが、一部の金融機関において課題が見られたところ。
- 金融機関においては、2020 年東京オリンピック・パラリンピック競

技大会に向けて、脆弱性診断を活用するなど、セキュリティ水準の定期的な評価を実施し、セキュリティ対策の実効性を確保していく必要がある。

そのためには、経営陣のリーダーシップの下、脆弱性診断に必要な予算を確保するなど、サイバーセキュリティ強化に向けて、適切に対応して頂くようお願いしたい。

2. 「マネー・ローンダリング及びテロ資金供与対策に関するガイドライン」の改訂について

(改訂予定について)

(全国地方銀行協会)

- 昨年2月に策定した「マネー・ローンダリング及びテロ資金供与対策に関するガイドライン」について、改訂を予定している。

(第二地方銀行協会)

- 昨年2月に策定した「マネー・ローンダリング及びテロ資金供与対策に関するガイドライン」について、先般13日(水)から、内容の一部改訂に係るパブリックコメントを開始した。
- 改訂の趣旨としては、当庁がこれまでモニタリングを行ってきた中で、金融機関からお問い合わせが多かった点や、FATFでの新しい議論等を踏まえ、金融機関に求められる対応を改訂により明確化することで、態勢の構築を進めていただきたいと考えている。
- マネロン・テロ資金供与対策において、重要なことは、取引開始時の本人確認だけでなく、継続的な顧客管理である。リスクに応じて定期的の実態把握を行うのみならず、顧客のマネロン・テロ資金供与リスクが高まったと想定される具体的な事象が発生した場合(例えば適時開示や報道等により不芳情報に接した場合)には、顧客情報や取引内容を確認・検証し、リスク評価の見直しや疑わしい取引の届出の検討をするなど、リスクベース・アプローチによる対応の実効性を高めていただきたい。

3. 外部専門家によるモニタリングの品質に関する評価の実施について

- 新しい検査・監督においては、モニタリングの質や深度、当局としての対応についての適切な判断が確保されるよう、品質管理の仕組みを組織として整備することが、これまでのチェックリストを用いた最低基準の検証が主であった時代に比べ、一層重要であると考えている。
- 「金融検査・監督の考え方と進め方（検査・監督基本方針）」や金融行政方針においても、「金融行政の質の向上につなげるため、外部の視点も加えた検証等を通じた品質管理を徹底し、必要な改善を行う」旨明記したところ。
- この「外部専門家によるモニタリングの品質に関する評価」の取組みは、昨事務年度から一部実施しており、評価結果と改善策について公表したところである。今事務年度についても、外部専門家から、一部の銀行及び保険会社の役職員の方々に対し、モニタリングに対する評価や改善点等を中心に、発言者の匿名性を確保した上で、ご意見をお伺いすることになるので、ご協力をお願いしたい。

4. 「経営者保証に関するガイドライン」の活用実績(30年9月期)の公表及び活用状況の自主的な開示について

- 1月28日に30年9月期の「経営者保証に関するガイドライン」の活用状況を公表した。新規融資に占める無保証融資の割合の増加傾向や、事業承継時のいわゆる二重徴求の割合の減少傾向が継続しているものの、無保証融資の割合が5割を超える銀行がある一方、1割程度の銀行もあるなどバラつきがあり、まだ改善の余地があるのではないかと考えている。
- ガイドラインの活用を促進するためには、各金融機関において活用状況を開示することも有用であると考えており、現在、ほとんどの地域銀行において、無保証融資の状況について開示していただいているところ。

- 現在、中小企業の事業承継が喫緊の課題となっているところ、新規の無保証融資の状況だけでなく、事業承継時における経営者保証への対応状況についても、自主的に開示することを検討するなど、顧客に対する見える化の観点からもガイドライン活用に向けて一層取り組んでいただきたい。

5. 改元及び10連休に向けた対応について

- 5月1日に予定されている改元については、総理より、国民生活への影響を最小限に抑える観点から、新元号を4月1日に公表する旨が示されたところ。
- 各金融機関においては、取引等に支障が生じることのないよう、優先順位を付けつつシステム改修を行うほか、システム連携等を行っている他の企業・地公体等のシステム対応状況の確認や顧客への周知など、準備に万全を期していただきたい。
併せて、10連休についても、各行において、休日設定の変更やデータ保存・処理のためのシステム改修、事務態勢の充実を図る他、顧客に対しては、ATMや窓口等の営業予定やこれを踏まえた資金の備えについて、事前の周知や注意喚起などを十分に行い、万全な対応をお願いしたい。
- また、全銀協を騙って、改元に伴いキャッシュカードを変更する手続きが必要であるなどと記載した封書を送りつけ、キャッシュカードの返送や暗証番号等の記載を求める詐欺の手口が確認されている。全銀協や当庁においてもホームページ等で注意喚起をしているが、各行においても、顧客がこうした詐欺被害に巻き込まれないよう、周知等、対応をお願いしたい。

6. 金融仲介に関する「対話」について

- 地域銀行の皆様との金融仲介に関する対話については、皆様の目指す姿の実現に資する新たな気づきを共有できればという思いで、財務局・金融庁一体となって取り組んでいるところ。

- 実際の対話は、各財務局における局長等のリーダーシップの下で行っているものや、金融庁職員である地域生産性向上支援チームのメンバーが行っているものがあり、対話のやり方についても一様ではないが、創意工夫を重ねつつ行っているところであるので、引き続きよろしく願います。

7. 金融庁幹部による訪問ヒアリングについて

- 「外部専門家によるモニタリングの品質に関する評価」のほか、当庁幹部自身も、金融機関の皆様方からモニタリングに関するご意見を直接伺いすべく、「訪問ヒアリング」を実施させていただく予定。
- 従来は検査実施先に対して、「検査モニター」を実施していたが、現在はオン・オフ一体のモニタリングを実施しており、オンサイト対象行だけでなく、オフサイトモニタリングを行った銀行も対象として実施していきたいと考えている。
- 今事務年度残りの期間で、オンサイト対象となった銀行を中心に、10行程度の地域銀行に対して試行的に実施させていただこうと思っているが、対象となった銀行の方にはご協力方よろしく願います。

8. 政策オープンラボの活動について

- 金融庁においては、若手職員を中心とした人材の育成・活用、組織の活性化に取り組むとともに、職員の新たな発想やアイデアを積極的に取り入れ、新規性・独自性のある政策立案へとつなげるため、職員の自主的な政策提案の枠組み（政策オープンラボ）を設置したところ。
- そのような中で、ある監督局の若手職員の発案により、地域課題の解決をサポートしようとするチームが立ち上がった。この趣旨に賛同した庁内の若手職員が、全国の自治体職員と各々の地域課題について対話を行い、金融庁としてその解決に向けて支援できることがないか、事例を収集しているところである。
- そのような地域課題を聴取する対話の中で、多くの自治体職員から、

- ・地方公務員にとって、財政部門などに所属しない限り、金融機関とのやりとりする場面は少なく、特に若手職員が直接交流する機会は殆どない
- ・しかしながら、地域における地域金融機関の存在は大きく、地域活性化に向けて志を同じくしている金融機関の職員がいるのであれば、ぜひ交流したい

などといった、金融機関の職員と交流の場を求める声が多く寄せられた。

- こういった声を受け、3月24日（日）、大手町界限で金融機関と公務員の若手有志が集う第1回交流会を開催する。

金融機関の職員が参加される場合には、もちろん個人の任意の判断による参加となるが、交流会の趣旨をご理解いただき、また逆に参加した職員から業務上の報告を求める、職員を派遣するなどといった交流会の趣旨を妨げる様なことも行わず、関心を持った職員が自発的に参加できるように配慮をいただきたい。

（以上）